

国道252号「二本木橋」及び「滝スノーシェッド」災害復旧事業が 全建賞を受賞しました

一般社団法人 全日本建設技術協会が主催する表彰制度において、福島県内の2件の災害復旧事業（「二本木橋」「滝スノーシェッド」）が平成25年度全建賞を受賞しました。

1 全建賞の概要

(1) 概要

日本の建設技術の発展に寄与することを目的として昭和28年に設けられた賞であり、建設技術の活用並びに公共事業の進め方やストックの運用の工夫などにより特出した成果のあった事業を実施した機関を表彰するもの。

(2) 今回の表彰状況

全国から297事業の応募があり、60事業が選出された。このうち、「平成23年7月新潟・福島豪雨」の災害復旧事業から2件（「二本木橋」及び「滝スノーシェッド」）が表彰された。

2 受賞事業の概要

(1) 二本木橋

- ① 事業名：国道252号 二本木橋災害復旧事業
- ② 受賞機関：国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所
- ③ 実施期間：平成23年10月7日～平成25年11月2日

(2) 滝スノーシェッド

- ① 事業名：国道252号 道路災害復旧事業 滝スノーシェッド
- ② 受賞機関：福島県会津若松建設事務所
- ③ 実施期間：平成23年9月2日～平成24年8月20日

【問い合わせ先】

(1) 二本木橋に関する事

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 調査課長 嶋倉正幸
電話 0258-36-4582 FAX 0258-34-3186

(2) 滝スノーシェッドに関する事

福島県会津若松建設事務所 主幹兼企画管理部長 諏江 勇
電話 0242-29-5402 FAX 0242-29-5459

[受賞事業]

事業名：国道252号 二本木橋災害復旧事業
受賞機関：国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所
実施期間：平成23年10月7日～平成25年11月2日



落橋後の状況



完成した二本木橋の新橋（上流側）と仮橋（下流側）

[事業概要と評価]

本災害復旧事業は、福島県内の権限代行事業でありながら、当時、東日本大震災の対応に追われていた東北地整に代わり、北陸地整が臨機応変に実施した点が大きく評価された。施工面でも仮橋復旧を本格的な降雪期前に終えるべく58日間で完了させるなど、早期復旧に努めた点も評価された。

[施工者]

鉄建建設(株)関越支店、(株)本間組、前田建設工業(株)北陸支店、宮地エンジニアリング、会津土建(株)

事業名：国道252号 道路災害復旧事業 滝スノーシェッド
受賞機関：福島県会津若松建設事務所
実施期間：平成23年9月2日～平成24年8月20日



被災状況



全面供用の状況

[事業概要と評価]

本災害復旧事業においては、降雪期前での迂回路の通行困難が予測されたため、降雪期前まで5ヶ月という限られた時間の中、道路管理者・コンサルタント・施工会社等が一体となって対応し、約3ヶ月半後に暫定供用、約5ヶ月後に全面供用できた点が評価された。

[施工者]

滝谷建設工業(株)